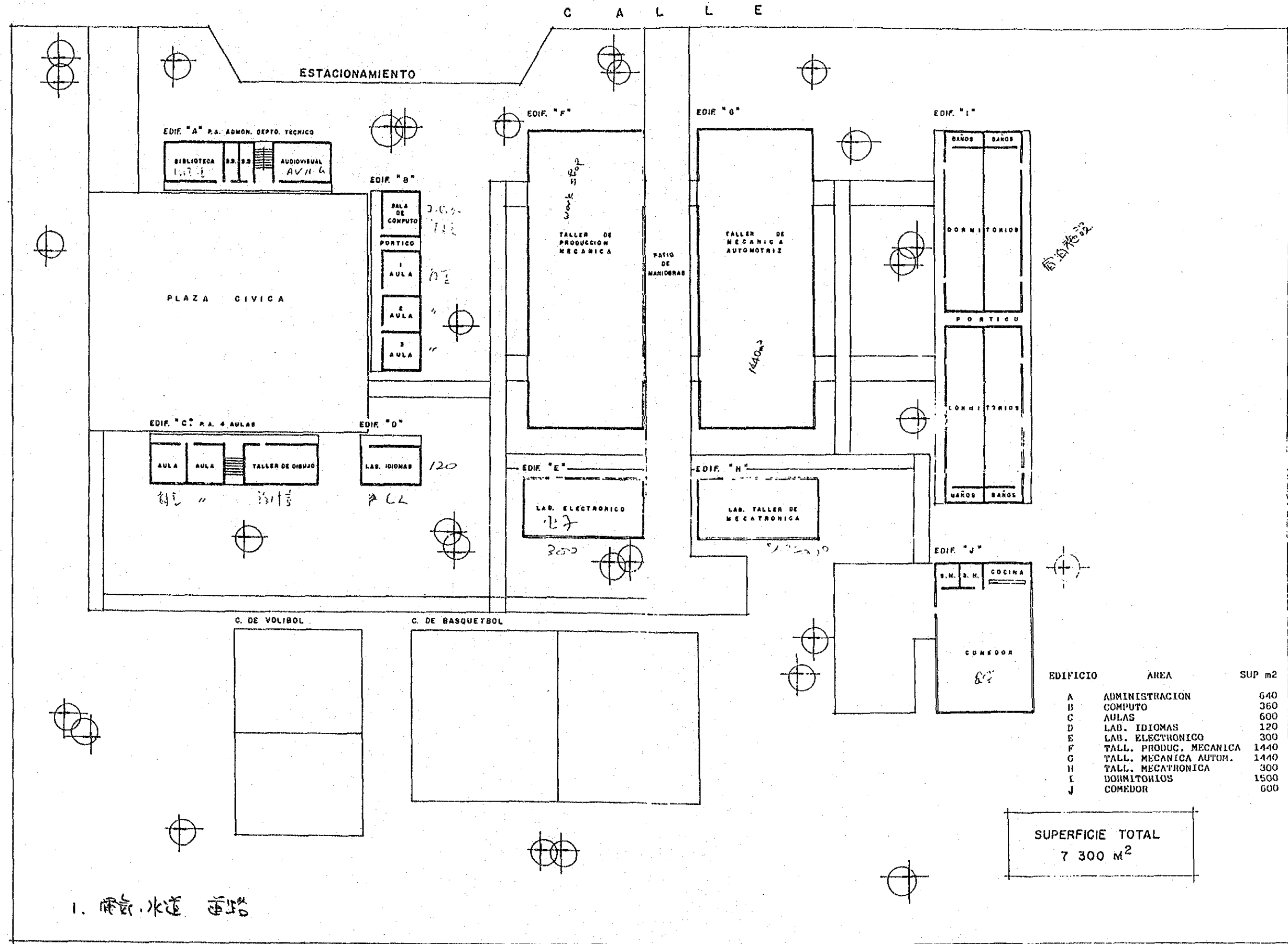


調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査結果
<p>II プロジェクト実施までに取 り込まなければならない事項につ いて</p> <p>1. プロジェクト協力期間</p> <p>2. メキシコ側投入計画 (1) その他職員 ① 教 配 計 画 (秘書/タイピスト/運転手)</p> <p>3. 日本側投入計画 (1) 専門家の派遣 ① 待遇(特権/免除/便宜/ 旅行許可/居住の提供)</p> <p>(2) 研修員受入</p> <p>(3) 機材供与</p> <p>4. 技術協力の波及効果について</p> <p>5. 合同委員会</p>	<p>要請期間：5年間</p> <p>技術移転の対象となるカウンタパートのほかには事務処理担当者の 配置が必要である。</p> <p>通常規模の3～4名/年程度。</p> <p>機材の選定に当たっては、社会的ニーズ(近代化の状況、導入し た技術の動向、メキシコ国重点産業分野)の分析及び訓練レベル( 相違内容)に伴う機材選定が必要である。</p> <p>プロジェクトより技術・技術が向上した指導員が、各種訓練機 材において機材及び施設の不足が不明、再訓練の成果、アウトプットがすぐ にあらわれない状態であること、留年教育近代化計画(89-91年に実施された) に出席し、メキシコ側は①技術教育近代化計画(89-91年に実施された) などといった計画・要請をプロジェクト実施前(あるいは、 開始後すぐ)にても)状況を確定していく必要がある。</p> <p>プロジェクトの円滑な実施のために合同委員会の設置が必要であ る。</p>	<p>メキシコ側へ要請協議までには協議しなければなら ない事項について伝える。</p>	<p>ミニッツ2. (4) のとおり確認した。</p> <p>プロジェクト協力の前提条件として、 ミニッツのとおり確認した。</p> <p>日本側より合同委員会の必要性につい て説明した。</p>



## センター平面図

# CENTRO DE ACTUALIZACION DE LA DGETI



EDIFICIO	AREA	SUP m2
A	ADMINISTRACION	640
B	COMPUTO	360
C	AULAS	600
D	LAB. IDIOMAS	120
E	LAB. ELECTRONICO	300
F	TALL. PRODUC. MECANICA	1440
G	TALL. MECANICA AUTOM.	1440
H	TALL. MECATRONICA	300
I	DORMITORIOS	1500
J	COMEDOR	600

**SUPERFICIE TOTAL**  
**7 300 M<sup>2</sup>**

1. 雨水道 道路

ESCALA: 1:500

JICA